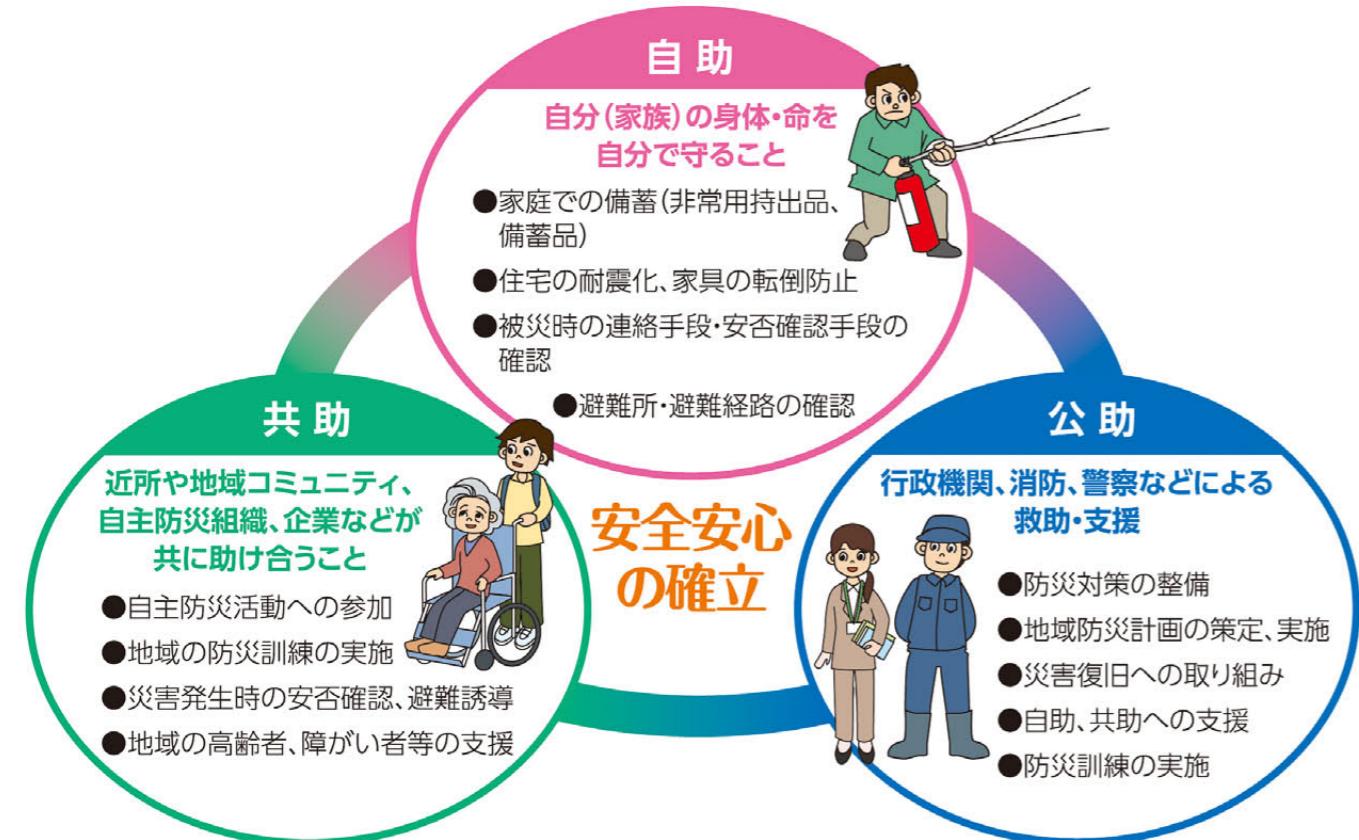


自助・共助・公助の役割

○ 自助、共助、公助で防災力を高める

大規模災害の発生時、市や消防、警察などが迅速に救出・救助、消火活動ができるようにするためにも、市民一人ひとりが地域の人たちと協力しながら率先して行動することが大切です。



○ 自主防災組織に参加しましょう

「自分たちの地域は自分たちで守る」ため、地域で支えあう自主防災組織を自治会などで設立しましょう。

○大きな災害が発生した場合、消防署や消防団だけでは、なかなか手が回りません。地域でできること（救助、初期消火、避難行動要支援者の支援等）をすることで、地域の被害を軽減することができます。



○ 要配慮者への地域の支援が重要

お年寄りや子ども・障がいのある方などは、災害が発生した場合、情報収集や避難行動・避難生活などで困難な状況に置かれることが多く、災害時に一層の支援が必要となります。

○要配慮者自身およびその家族の方々は、地域との交流を保つように心がけ、いざというときの援助を依頼しておきましょう。

○地域の皆さんは、要配慮者の方が遠慮なく援助を申し出られるように、ふだんから働きかけや交流を持つよう心がけましょう。

マイ・タイムライン (記入例)

マイ・タイムライン (避難行動計画) とは

災害に備えた「逃げ方」を考えておくことです。「いつ」・「誰が」・「何をするのか」を考えておくことで、災害時に慌てず行動する助けになります。

我が家のタイムライン

(石岡家)

